

○ 事業目的 この事業は、「第3次大阪府文化振興計画」に掲げる施策、「[大阪の街を使いこなす]～都市全体を発表の場!」と「[地域資源を活かした大阪の魅力向上]～大阪ミュージアム構想の推進」に沿って、大阪のまち全体をアーティストやクリエイター等の発表の場として活用し、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするものです。公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見・発信すること、アーティストやクリエイターが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的とします。(この場合の公共空間とは、公共施設に限らず、不特定多数の人の目に触れる場所とします)

○ 募集内容 御堂筋では、昨年、食や音楽などをテーマにした多様なプログラムが実施されました。今年もそういった様々な動きと連携・協働しながらおおさかカンヴァスを実施する予定です。御堂筋がアートや音楽、食を楽しむ人々で賑わう、新しい楽しみ方を創りだすような作品を募集します。パフォーマンス、音楽、演劇、インスタレーション、ワークショップ、ペインティングなど、アートやデザインのあらゆる表現形態を対象とします。

○ 発表場所 御堂筋(淀屋橋～本町)沿道のオープンスペース等の公共空間

○ 制作予算 作品制作にあたっては、必要な制作資材及び制作補助人員等にかかる経費の全部または一部を、200万円を上限に、概ね下記の金額・点数を予定し、主催者の予算の範囲内で制作支援を行います。

- 概ね 200万円の作品 ----- 1点
- 概ね 100万円の作品 ----- 1点
- 50万円までの作品 ----- 2～3点

※建物敷地内に設けられた公開空地や壁面後退空間、公共的屋内空間、ショーウィンドウ等の不特定多数の人が見ることのできる空間 (※応募時には建物の所有者等と事前交渉の必要はありません。)

※制作支援対象経費 材料費、交通費、滞在費(飲食を除く)、機材等リース料、作品にかかる損害保険料、制作時及び発表時の補助スタッフまたは作品を完成させるために必要なパフォーマー派遣等(作家本人が手配するアシスタントの人員費を除く)、作品制作、展示・発表に係る場所使用料及び光熱水費、輸送費、作品設置・撤去経費、発表場所の現状復旧に係る経費、個別作品のライター等作成費 等

○ 審査基準 ▷ この事業の目的に沿った地域(御堂筋)の魅力発掘・魅力向上 ▷ アイデアの斬新さ ▷ 実現性の高さ など

○ 応募対象者 本事業の趣旨を理解し、選考された場合には作品の完成まで、責任を持って取り組める方。(個人・グループを問いません。) ※アーティスト、デザイナー、クリエイター、地域団体、NPO、アートプロデューサー等

○ 事業スケジュール 応募受付 平成26年5月9日(金) — 平成26年6月25日(水) 結果発表 平成26年7月下旬 作品展示・発表 平成26年10月上旬(3日間程度)

※展示発表時期や期間は、御堂筋で開催される他の事業等と連携しながら作品を発表することを想定しています。

○ 審査委員



建昌 哲 (たてはた・あきら) 京都市立芸術大学長 埼玉県立近代美術館長

1947年、京都生まれ。多摩美術大学教授、国立国際美術館館長を経て、2011年から現職。90年、93年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッション、横浜トリエンナーレ2001のアーティストディック・ディレクター、あいちトリエンナーレ2010芸術監督等を歴任、詩人、美術評論家としても活躍中。『零度の犬』(高見順賞)、『死語のレッスン』(萩原朔太郎賞)などの詩集の他、多数の著書がある。



玉置泰紀 (たまき・やすのり) ウォーカー情報局 総括局長

1961年大阪生まれ。同志社大学卒業後、産経新聞大阪本社に入社。大阪府警本部捜査1課担当などを経て、福武書店(現ベネッセ)に転職。月刊女性誌「カルディエ」創刊に加わり、その後「たまごクラブ」「ひよこクラブ」の準備に携わった後、角川書店に再転職。東京版「ジュエリ」、九州ウォーカー創刊。後に同誌編集長、東海ウォーカー、大人のウォーカーの創刊編集長、関西ウォーカー編集長を歴任。今年から本拠地を東京に移し、ウォーカー全体のトップとして指揮を取る。



ヤノヘケンジ 現代美術作家 ウルトラフットリー・ディレクター (京都造形芸術大学教授)

1965年、大阪生まれ。90年初頭より「サヴァイヴァル」をテーマに大型機械彫刻を制作。97年にチェルノブイリを訪問する「アムスツ・プロジェクト」を行うなど社会的メッセージを含む作品群は国内外で評価が高い。2012年には震災復興記念事業「福島ビエンナーレ」にて希望のモニュメント「サン・チャイルド」をサポートから設置資金を募って展示。あいちトリエンナーレ2013にて大規模展示。瀬戸内国際芸術祭2013ではピートけしとのコラボレーション作品を発表。大きな話題を集めた(継続して展示中)。



忽那裕樹 (くつな・ひろき) ランドスケープ・デザイナー

1966年大阪府生まれ。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネジメント、タウンマネジメントを通じて、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わっている。「大阪府立江之子島文化芸術創造センター」のプラットフォーム事業を手掛けるとともに、民主主義のまちづくり推進組織「水都大阪パートナーズ」のプロデューサーとして数々の事業の企画・運営を推進中。



塩山 諒 (しおやま・りょう) sumasuta NPO法人スマイルスタイル 代表

1984年生まれ。2007年、社会的課題解決に向けたクリエイティブチーム「スマスタ」を結成。不登校・ひきこもりの自身の経験が常に動力となり、市民・企業・行政協働型の様々なソーシャルプロジェクトを手掛ける。主な活動として、レイブル(働く意志をもつネットワーク)の就労支援プロジェクト「大阪丸」を経て、既存の職業安定所の概念を覆すワークサポート施設「ハローライフ」を開発。新しい就労モデル創出のための実践と研究に取り組む。

※その他 作品の展示または発表にあたっては、鑑賞者や通行者の安全確保を最優先し、作者が責任を持って搬入・制作・展示・撤出することとします。また、安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。

企業・団体・府民の皆様へ

この事業の主旨に沿った作品発表場所のご提供や、制作資材・協賛金などのご寄附も募っておりますので、ご協力をお願いいたします。



大阪ミュージアム構想 Osaka The Museum Concept

http://www.osaka-canvas.jp/ 募集要項・提出書類等はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

この印刷版は15,000部発行し、1部あたりの単価は38円です。

説明会開催 概要説明会 + 現地案内 募集に関する説明会を開催します。(概要説明の後、御堂筋に移動、展示候補地を案内します。) 平成26年5月24日(土) 14:00-15:30 平成26年5月29日(木) 19:00-20:30 集合場所: 淀屋橋odona 2階「アイ・スポート」 ※事前予約不要(開始時間30分前から先着順に受付) 住所: 大阪市中央区今橋4-1-1

○ 応募要項(抜粋) ※応募される方は、公式WEBサイトに掲載している募集要項の完全版を必ずお読みください。

- 募集内容 作品は新作、既作いずれでも結構です。既に制作済みの作品の展示のみを提案したいでも結構です。ただし、既作の場合は、制作に要した費用は支援対象となりません。また、提案者が全ての権利を有するものに限ります。なお、著作権を主目的とするなど、本事業の目的に沿わない提案はご遠慮ください。
- 応募方法等 ■ 応募可能提案数 1名・グループにつき合計3提案まで ■ 提出物 下記の内容をA3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめた、ホットキス止めで提出。 ※ 提出物は返却しません。(A)応募用紙 (イ)作品プラン (ウ)制作予算見積書 (エ)経歴書(過去作品事例などの参考資料(提出は自由。)) (オ)上記(A)から(エ)の全てを電子データで記録したCD-ROMまたはDVD-ROM ■ 応募に関する質問の受付と回答 平成26年5月9日(金)～平成26年6月11日(水) 平成26年5月9日(金)～平成26年6月11日(水)までにご来場ください。 ※ 質問は所定の質問票により、電子メールまたはFAXのいずれかの方法に限ります。
- 制作条件 作品制作に着手するまでに、作品毎に制作条件や制作支援内容について、主催者及び施設管理者等関係者と3者により協定を締結していただきます。 ■ 設置環境に関する条件 ・パフォーマンスやイベント、ワークショップ等は、原則として平成26年10月の実施期間中に複数回実施していただきます。 ・作品は、発表期間終了後、原則として作者の責任において撤去し、原状回復をものとし、(撤去や原状回復に要する費用は作業員の人員費を含めたうえで、制作予算に見積もってください) ・作品の撤去や原状回復が平成26年度中に終了しない場合、主催者はその費用を負担できませんのでご了承ください。 ■ 制作予算 ・見積書は、記入例を参考に、作品制作、設置、展示・発表、撤去、広報などすべての工費において想定される事項をご記入ください。 ※特別な資格・技術を必要としない場合は、作業時間9時から17時までの作業とし、1人1日1万円として積算してください。特別な資格、技術を必要とする場合は、必要な資格と相場と思われる日当額をもとに積算してください。 ※ワークショップの実施時の手伝いのスタッフや作品展示中の作品コンセプトの説明のためのスタッフが必要な場合も同様に制作予算見積書にご記入ください。 ※作業員及び制作自身が手配するアシスタントの人員費は支援の対象ではありません。 ・本事業では、資金や謝礼、アーティスト等はありません。 ・制作資材等は同等品の現物支給、チケットや回数券等の交付等となる場合があります。 ・最終的な支援内容は、作者と主催者及び作品発表場所管理者の協議により個別に決定します(見積り金額が必ずしも制作予算として承認されるわけではありません)。 ・決定した支援内容の増額は行いませんので、作品制作過程から撤去完了にいたるまでの間に発生した原因(主催者側の原因によるものを除く)によって、決定した支援額以上の経費が必要となる場合は、原則として作者ご自身の負担となります。
- 作品決定後であっても、社会情勢の急激な変化など止むを得ず中止・変更する場合があります。 ■ 搬入・制作期間 ・作品の制作・搬入・撤出は、原則として作者の責任で行うこととします。 ■ 著作権、所有権の取り扱い ・全ての作品及び応募資料の著作権(パフォーマンスやイベントを含む)は作者に帰属します。ただし、主催者及び作品発表場所管理者は、制作作品や応募資料について、おおさかカンヴァス推進事業及び作品展示・発表場所広報のための、著作権者の承諾を得ることなく無償で利用できるとします。 ・作品の所有権は、ウォールペインティングなど、作品発表場所から切り離せないものについては、作品発表場所所有者に帰属します。彫刻など作品発表場所から撤去可能なものについては、原則として作者に帰属するものとします。 ・提案は、応募者に全ての権利があるものに限ります。万一、応募内容に関して第三者と紛争が生じた場合は、主催者は一切の責任を負いませんので、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。また、第三者との紛争等により主催者に損害が発生した場合には、応募者に当該損害の一切を賠償していただくこととなりますので、第三者の権利侵害についてはくれぐれもご留意ください。 ■ 作品の維持・補修に関すること ・作品の展示・発表のための作品安全管理のための管理員は配置しません。必要な場合は、制作予算に管理費用を計上してください。 ・作品を良好な状態で展示・発表するための日常的な維持及び補修は、作者の責任において行っていただきます。また、明らかに主催者及び施設管理者に原因がある場合を除き、作品の毀損、損壊については主催者及び作品発表場所管理者は責任を負いません。

応募先 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎37階 大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 文化課 おおさかカンヴァス推進事業 担当宛 ※応募受付は、郵送のみとします。

おおさか かんヴァス 推進事業 OSAKA CANVAS PROJECT 2014 今年 御堂筋で 実施! 制作予算上限 200万円 2014公募 表紙作品: おおさかカンヴァス 2013 選定作品「MuDA特区」/ MuDA

大阪府



Osaka Canvas Project

アーティスト、デザイナー、地域団体、クリエイター 大阪を舞台にしたあらゆる表現活動を募集 大阪のまちをカンヴァスに!

募集期間

2014年5月9日(金) — 6月25日(水)

今後の開発が期待される
中之島西部エリアで3作品を発表

昨年は、新しい水辺のライフスタイルなどをテーマに開発が検討されている“中之島GATE”エリアで10月に実施。入堀を埋め立てた広大な更地を中心に3作品を展示しました。水の都・大阪をアピールする「水都大阪フェス」と同時開催し、場外市場型レストランや音楽ライブなども実施され、5万人を超える観客が来場。未来への期待が高まるエリアの新しい魅力や可能性を発信しました。



ミラーボールカー / 西野 達

ミラーチップを車体に貼り付けた車を大型クレーンで吊り下げ、空中にミラーボールを出現させる作品。投光機に照らされた車体が回転すると、丸い光が無数に周囲を飛び交い、街が丸ごとクラブ化した様相に。かつて大阪の発展を支えたエリアが、新たに未来へと広がる可能性を示した。



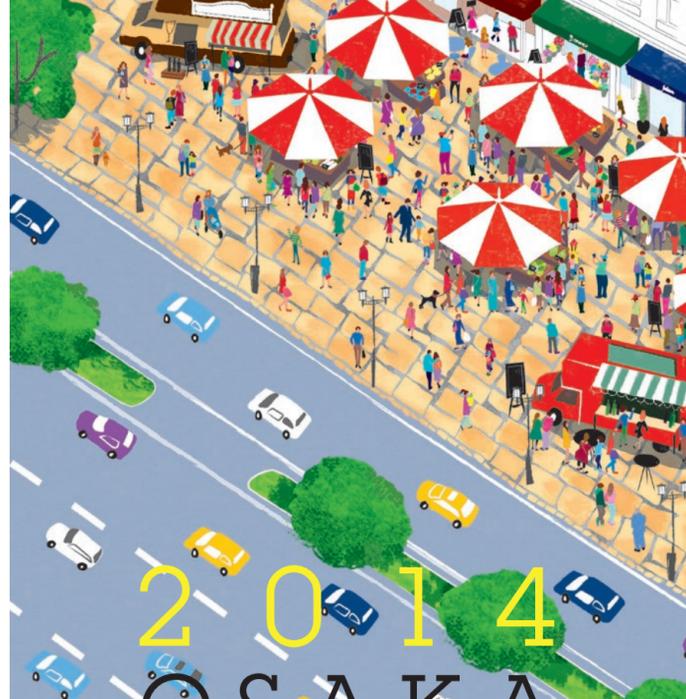
MuDA 特区 / MuDA

水辺に絶滅危惧種などの動物たちを無数に設置し、いのちの島の特別区域を出現させた。期間中には、いのちの衝突、循環をテーマに、ダンス・音楽・美術・映像等による舞台公演も実施。作品背後に広がる都市の風景と相まって、昼・夜ともに独特の魅力をもたらえる空間を生み出した。



大小便小僧 / NANIWAZA (ナニワザ)

中之島西の創先に仮設トイレと小便小僧を設置、用を足す水圧を感じて小便小僧から水が噴出す仕組み。河川から汲み上げた水を浄化して小僧から噴出させることで、環境について考えるきっかけにも。期間中、多くの人が自らの“水圧”と運動して放たれる大きな噴水を楽しんだ。



2014
OSAKA
CANVAS
PROJECT

淀屋橋
yodoyabashi

未
来
へ
向
か
う
御
堂
筋

“人”重視の道路空間へ

昨秋、難波から北1kmの側道2車線(各5m)を一時閉鎖し、安全で快適な歩行者空間の創出を目指す社会実験が実施されました。御堂筋を魅力・活力溢れるエリアにするため、側道を歩行者や自転車の通行空間にするなどの検討が進められています。



歩行者空間化への検討が進む側道(左側)

高さ制限等の緩和

御堂筋沿道(淀屋橋～本町)のビルの高さ制限緩和を含む、新たなまちづくりのルールが本年1月よりスタート。100mを超える高さまで建築が可能になりました。今後、沿道ビルの建て替えが進んでいくことが予測され、大阪のシンボルロードにふさわしい建築物の外観デザインや、低層部のにぎわい空間の創出などのまちなみ誘導が図られていきます。



©大阪観光局(公財)大阪観光コンベンション協会

アート作品の発表場所は、御堂筋(淀屋橋～本町)沿道のオープンスペース等を活用してください。建物敷地内の公開空地や公共的屋内空間、ショーウィンドウなどを対象とします。



クオリティの高い賑わい空間をめざす御堂筋
大阪随一の都市空間との
コラボ作品を募集

今から80年近く前、今の姿に整備された御堂筋は、完成当時、「飛行場でも作るのか?」と市民が驚愕するほど、都市の新しい像を示しました。以来、沿道ビルの高さを31メートルまでとする「百尺制限」を維持し(1995年に緩和)、美しいスカイラインと4本の銀杏並木に特徴付けられる「大阪の顔」として存在感を放ち続けてきました。近年、高さ制限がさらに緩和され、側道の歩行者空間化に向けた社会実験が実施されるなど、その姿が変わる可能性も示されています。

今回のおおさかカンヴァスでは、この御堂筋そのものの、特に淀屋橋～本町間のビジネス空間を舞台に、多くの人が行き交うメインストリートの新しい可能性を引き出す作品、大阪随一の都市空間との新鮮なコラボレーションを提示する作品を募集します。変わりつつある御堂筋にこれまでにない光を当て、皆さんと新しい「都市の顔」を創造したいと考えます。

mido-suji

本町
hommachi

history

巨大な道路が誕生!

1937年に完成した御堂筋は幅員44m、電柱の完全地中化、地下鉄同時開発という大規模な都市開発事業とともに完成した御堂筋は、飛行場か?と見まごうほどのスケールで、多くの市民が度肝を抜かれました。未来の都市の発展をありありと予告する存在として御堂筋は誕生したのです。



1937年に完成当時の御堂筋 (大阪歴史博物館所蔵資料)

歴史と文化が豊かなエリア
御堂筋の両側に広がるエリアは、船場を筆頭に、江戸時代から商業・学問・文化において豊かな遺産を蓄積し続け、また大正後期から昭和初期には、華やかで活気のある「大正時代」の核となるなど、常に大阪の中心であり続けてきました。



建設当時(1933年)の豪華な姿を今も誇る大阪ガスビル



1781年創業の「神楽」はじめ、多くの老舗が今も店を構える(写真は明治35年 神楽 雑噺場店)



江戸時代に船場で開かれ、優れた門下生を多数輩出した「道頓」